

## まちの話題

# 国東の夏祭り



輪をつくり、笛と鉦が奏でられる中、時にゆっくり動き、時に警戒に飛び跳ね、全身を大きく動かして太鼓をたたき、勇壮な舞を披露しました。

吉弘楽は、南北朝時代、大友家の分家、吉弘正賢が始めたとき、戦勝と領内の五穀豊穡、虫よけを祈願したと伝えられています。  
地元住民でつくる吉弘楽保存会（藤原利雄会長）と吉弘楽愛護少年団の楽人49人が、かぶと、えぼし、陣笠をかぶり、腰蓑にわらじ姿で胸に太鼓を抱き、背中に旗を差したいでたちで

**吉弘楽**  
7月23日(日) 武蔵町楽庭八幡社

7月24日(月) 安岐町下原湊商店街、湊橋付近

## 川舟祭り

「川舟祭り」は今から約200年前、港を中心に当時の船主や商人たちによって始められた、航海安全・大漁・商売繁盛を祈願した住吉社の夏祭り、旧暦6月29日に行われます。

安岐川河口を遡って真っ赤な炎と共に川舟神幸（しんこう）が始まり、みこし舟、おはやし船と闇の中から姿を現し、闇と炎と水しぶきの饗宴です。舟が沖に帰つた後、優雅な口説きときりりと引き締まるお練の若衆の毛槍組が、湊商店街を練り歩きました。



▲かがり火船からは、勇壮な締め込み姿の男たちが水しぶきを上げて川に飛び込みます



▲河川敷に設けられたステージでは、アマチュアバンド演奏などが行われ、大勢の見物客で賑わいました



▲子ども神輿も登場



▲国東市助役賞の「龍」と「アナコンダ」の「イカパワー」

その年の時事・出来事等を風刺した作品を展示。毎年奇想天外なアイデアで見物客を楽しませます。夜は、神輿や舞踊、ステージイベントで盛り上がります。

**小川見立細工七夕飾り**  
7月28日(金)・29日(土) 安岐町小川商店街